BOSE®

OWNER'S MANUAL

1205

取扱説明書

リアマウントカースピーカーシステム／モービル・パワー・アンプ

この度は、ボーズ・カースピーカーシステム1205をお買い上げいただきましてありがとうございました。本機を正しく、または性能を十分に生かしてお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またこの説明書は、必要なときにすぐお読みになれるよう、保管されることをおすすめします。

特　長

●車室内の音響特性にマッチングさせた
専用イコライザーアンプ

車室内という特殊な環境での音響再生では、その空間特性を補正する必要があります。そこで、アンプ部には定格出力30W＋30Wの専用イコライザーアンプを採用。
車内音響の要求する複雑な特性を実現しています。

●小音量時から大音量時まで自然な
音響バランスを実現するPAP回路

人間の耳は音量が小さくなるにしたがって、周波数によって聞こえにくくなる帯域があります。このため大きな音では自然に聞こえる再生音も、小音量になると周波数ごとのバランスがくずれ、もの足りない音になってしまいます。そんな人間の聴覚を研究し、どんな再生レベルでも聴感上もっとも自然な周波数バランスに聞こえるよう、常に自動的にコントロールします。

●アンプやスピーカーの破損を防ぐ、4種類の保護回路

スピーカー端子のショート、過電圧、電源の⊕⊖の逆接続と、アンプの温度上昇などアンプやスピーカーの破損を防止するプロテクション回路を装備しています。

●アンプ部へのノイズ飛び込みを抑える
グラウンドアイソレーション回路採用

イグニションノイズやオルタネーターノイズ等の自動車の電装系より発生するノイズ成分をシャットアウトします。

●自然で豊かな低音再生を可能にするP.Pシートコーン採用の
6×9インチ楕円ウーファー

6×9インチウーファーには、高い内部損失特性を持つP.Pシートコーンを採用。
入力信号に対してリアルな応答特性を実現すると共に、高調波を抑えることにより中高域での強調感のない、自然で切れ味の良い重低音再生を可能にします。

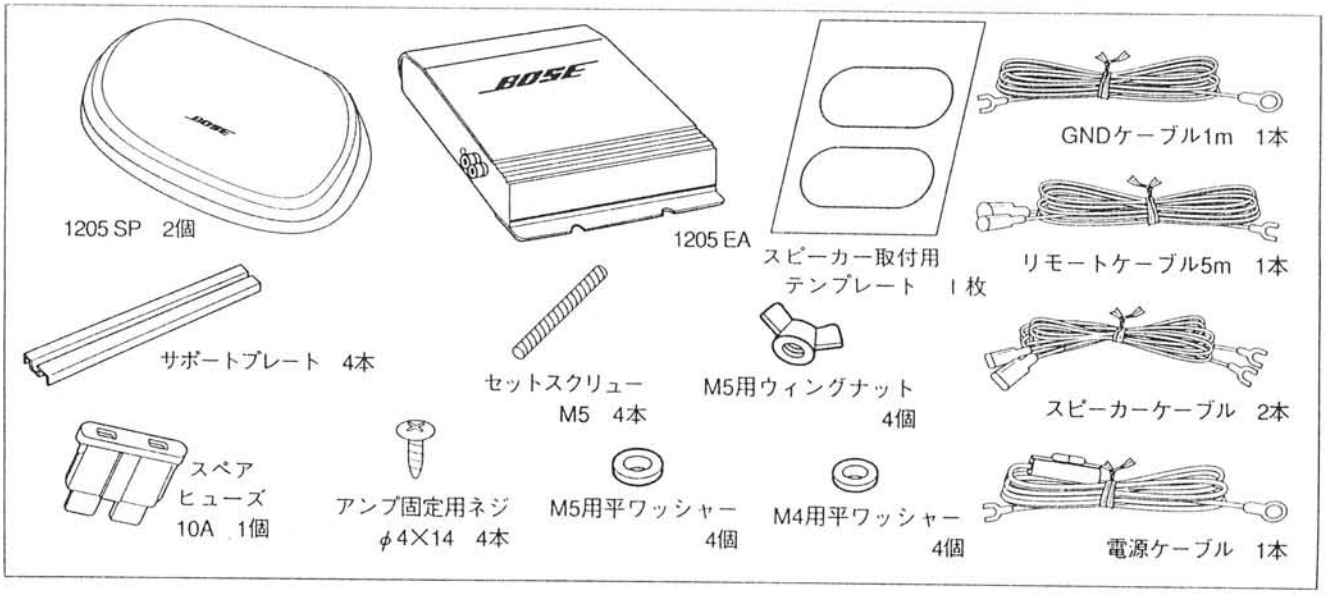
●P.P.T.A振動板採用の20mmツイーター

ツイーターには、音響的に優れた物理特性を持つ工業フィルムのP.P.T.A振動板を採用。高い内部損失と剛性を両立させ、クリアでリニアリティの高い、高域再生を実現します。

●耐候性に優れたキャビネット及びスピーカーユニット

真夏の炎天下では100℃以上にもなる車載使用での厳しい環境に対し、優れた耐候性を実現。紫外線による色褪せや劣化にも極めて強く、良好な状態を長時間維持します。

内容物

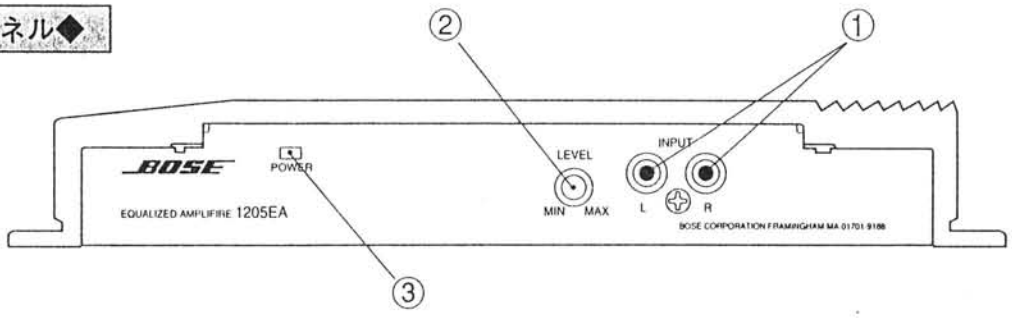


開梱時の注意

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

イコライザーアンプの各部の名称

◆入力側パネル◆

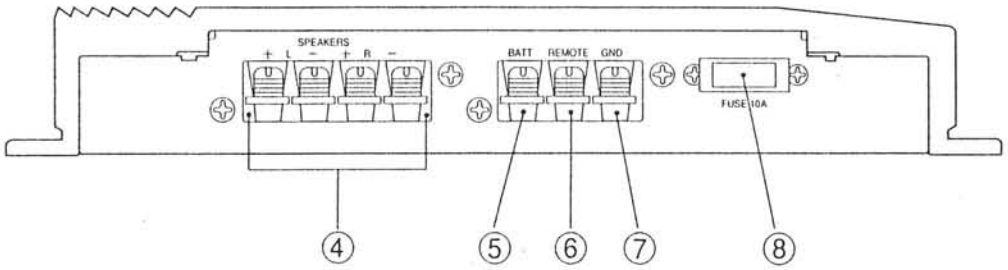


① 信号入力端子
RCAピンジャックです。ヘッドユニットからの信号をR（右チャンネル／赤）、L（左チャンネル／白）それぞれに入力します。

② LEVEL（入力レベル調節ボリューム）
入力する信号の大きさを調節します。時計方向に回すと音量が上がります（マイナスドライバーで調節します）。

③ パワーインジケーター
電源が入ると赤のランプが点灯します。

◆電源入力、スピーカー出力端子側パネル◆



④ SPEAKERS（スピーカー出力端子）
スピーカーと接続します。Lは左チャンネル、Rは右チャンネルのスピーカー用の端子です。

⑤ BATT（電源接続端子）
バッテリーの⊕端子に接続します。

⑥ REMOTE（リモート端子）
ヘッドユニットのリモート出力等を接続します。

⑦GND（グラウンド端子）
確実に車体の金属部分につないでください。

⑧ ヒューズ
10Aのヒューズです。過大電流などから本機を守ります。

イコライザーアンプの取り付けについて

本機の取り付けは専門のカーショップにご依頼されるようお勧めいたします。もし、ご自分で取り付けを行なう場合には、必ず本説明書にしたがって作業をおすすめください。

※本機は4点支持マウント方式になっています。不安定な場所は避け、必ず4点すべてをしっかりと固定してください。

本機を設置する場合、次のような場所には設置しないでください。性能の劣化や故障の原因となります。

- ●エンジンルーム内
- ●直射日光が当たる場所
- ●ヒーターのダクト近く
- ●湿気や水分のあるところ。雨水などがかかるところ。

イコライザーアンプの接続について

●ショート事故防止のために配線作業は必ずカーバッテリーの㊀側端子のケーブルを外した状態で行なってください。

●金属部に配線を通す場合には、ショートを防止するためにゴム製グロメット等を使用することをおすすめいたします。

REMOTE端子の接続（○数字は各部の名称をご参照ください）

本機の電源のON／OFFを行なうための端子です。
この端子に㊉12Vがかかっている間、本機の電源がONになります。

●本機のREMOTE（リモート端子）⑥をヘッドユニットのリモート出力と接続します。ヘッドユニットにリモート出力がない場合には車体のACC端子などをご利用ください。

※本機には10Aのヒューズが付いていますが、ショートによる火災事故等を防ぐために、更に電源接続端子とカーバッテリーの㊉端子との間に10Aのヒューズを入れています。また、バッテリーケーブルは安定した電流供給を確保するため付属のバッテリーケーブルをご使用下さい。

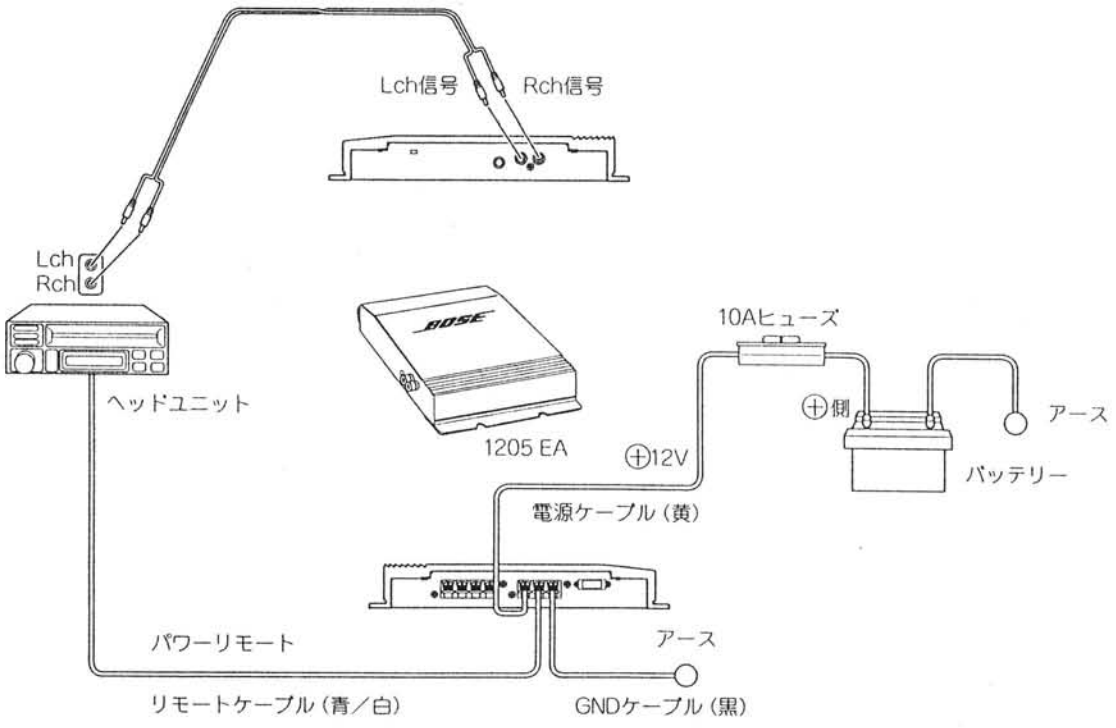
電源系の配線

●GND（グラウンド端子）⑦と車体の金属部分の確実にアースにつながっている部分をしっかり接続します。ノイズ防止のため、できるだけ短くすることをおすすめします。

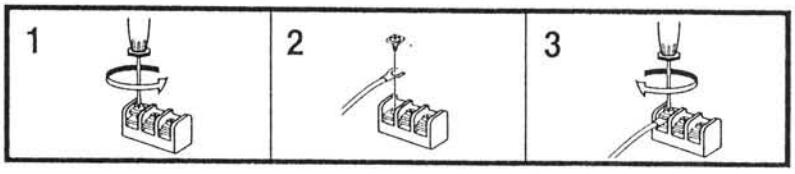
●本機のBATT（電源接続端子）⑤とカーバッテリーの㊉端子を直接接続します。

※この端子に常時㊉12Vをかけますと、本機の電源が切れなくなり、バッテリー上がりなどの原因になります。

イコライザーアンプの接続



ターミナルの締め方

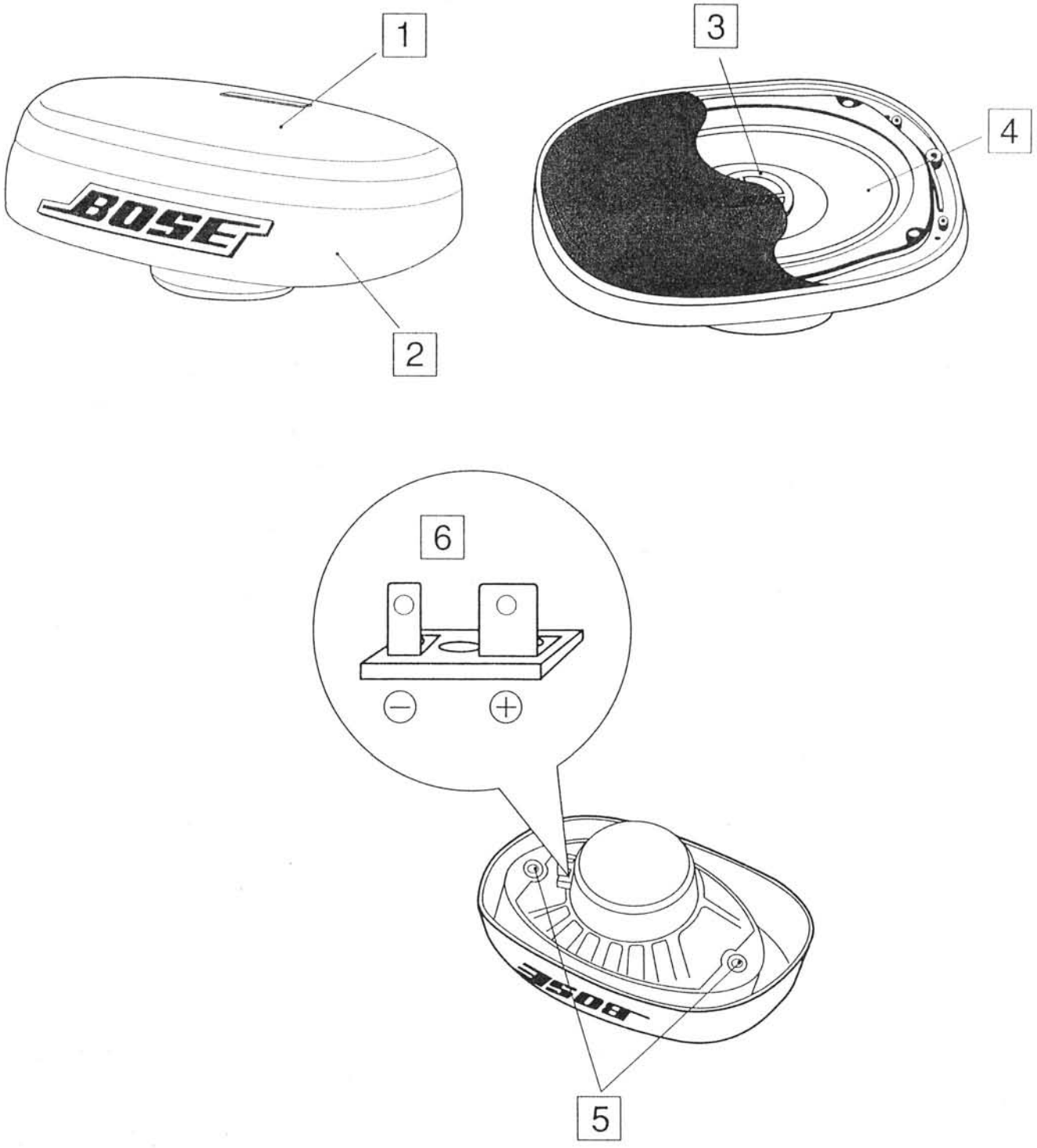


ネジを傷めないよう、締め付けトルクは1N・m以下で締め付けてください。

ご注意

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが接続してある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとこれらのコンピューターメモリーの内容がすべて消えてしまうことがあります。このような車では、バッテリーのマイナス端子をはずさないで電源コード以外を接続して、最後に電源コードの接続をするようにしてください。

1205SP各部の名称



[1]グリル

スピーカー保護グリルです。

[2]アングルスペーサー

スピーカーを最適な角度がつくようにするためのスペーサーです。このスペーサーを取り外してスピーカーを取り付けることも可能です。

[3]ツイーター

P.P.T.A振動板採用の20mmツイーターです。クリアでリニアリティの高い高域再生を可能にしています。

[4]ウーファー

P.Pシートコーンを採用した6×9インチのウーファーです。

[5]取付用埋め込みナット

付属のセットスクリューをここに取り付けます。

[6]スピーカー接続端子

巾の広い方が⊕、せまい方が⊖になります。

スピーカーの取付方法

アングルスペーサーを使用する場合

手順1. 付属の取付用テンプレートをキャビ最大外形線にそって 切り抜いてください。

手順2. 1205SPを設置する場所を決め、その位置にテンプレートをセロテープなどで固定してください。

手順3. テンプレートのスピーカー埋め込み穴とビス穴を開けてください。

手順4. 図-①のように取付用埋め込みナットにセットスクリューを装着してください。

手順5. 1205SPを図-② のように埋め込み、裏側から、サポートプレート、平ワッシャーを取付けた後にウイングナットで絞めてください。

図-①

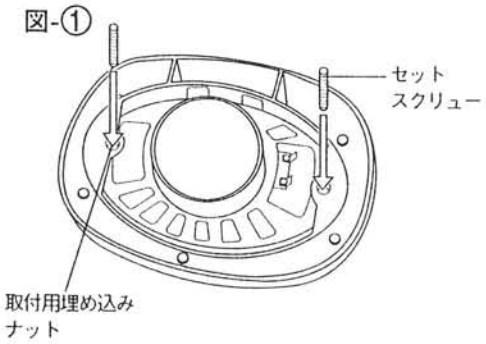
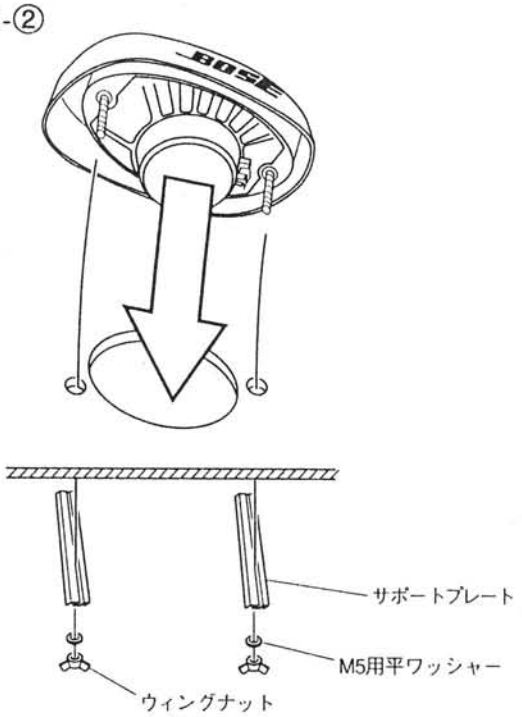


図-②



アングルスペーサーを外した場合

手順1. アングルスペーサーを図-❶のように6本のネジをはずしてとりはずします。はずしたネジはなくさないように大切に保管しておいてください。

手順2. 付属の取付用テンプレートをアングルスペーサーなしの場合キャビ最大外形線にそって 切り抜いてください。

手順3. 1205SPを設置する場所を決め、その位置にテンプレートをセロテープなどで固定してください。

手順4. テンプレートのスピーカー埋め込み穴とビス穴を開けてください。

手順5. 図-❷のように取付用埋め込みナットにセットスクリューを装着してください。

手順6. 1205SPを図-❸のように埋め込み、裏側から、サポトプレート、平ワッシャーを取付けた後にウイングナットで絞めてください。

図-❶

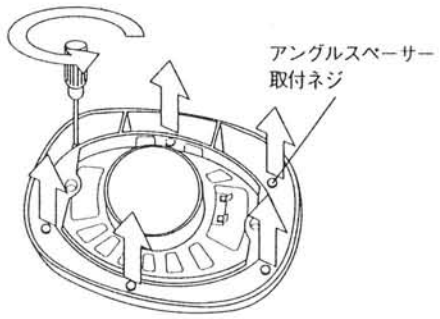


図-❷

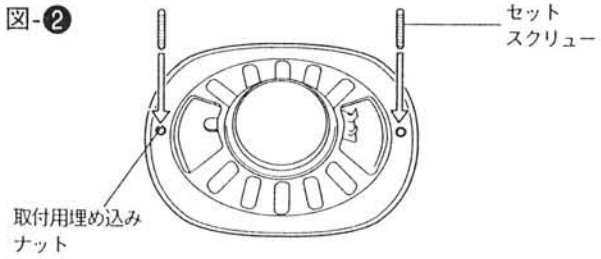
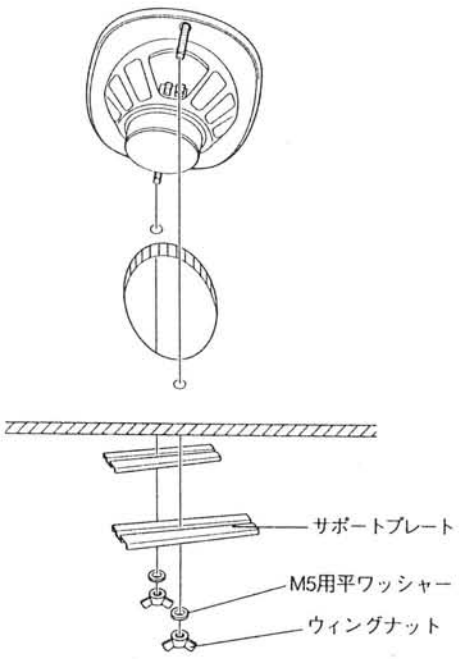
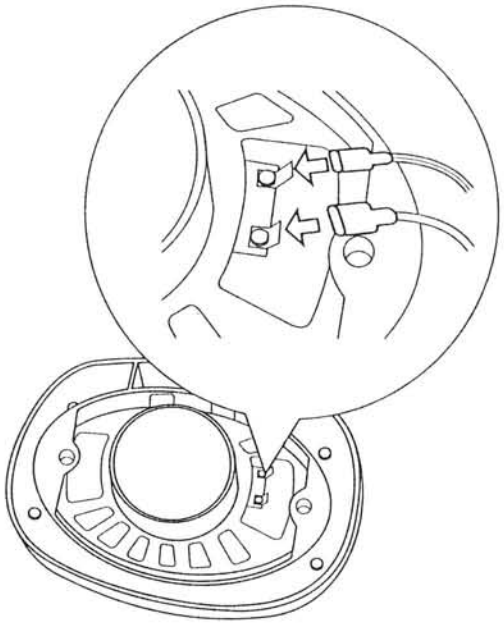


図-❸



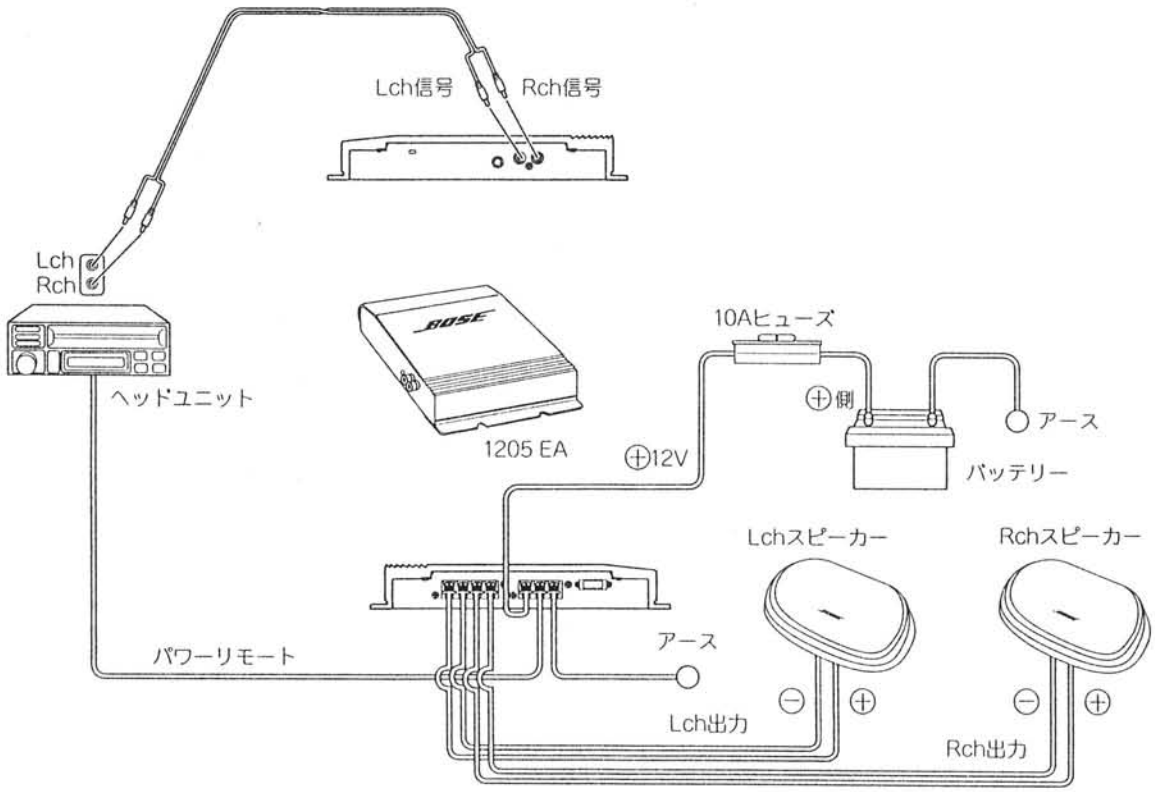
1205SPの接続について



イコライザーアンプのスピーカー出力端子④とスピーカーケーブル接続端子[6]を接続します。この際、アンプのL（左チャンネル）／R（右チャンネル）とスピーカーのL／R、⊕／⊖の極性を十分確認して接続してください。

※極性（⊕,⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり、低音が出なくなったりします。
またスピーカーの⊖側を車のシャーシなどに接続したり、スピーカーの⊖側どうしを接続すると故障の原因になります。

イコライザーアンプとスピーカーケーブルの接続



システム調整について

システムの調整を行なう前に再度接続を確認してください。すべてのネジ類、接続ケーブル類が確実に装着されているか、確認してください。装着が完全なことが確認できたら、作業を行なう前に外しておいたバッテリーの⊖端子を元の状態に戻し、車のキーを“ACC”（もしくはON）の状態にします。

音量の調節（○数字は各部の名称をご参照ください）

1. イコライザーアンプのLEVEL（入力レベル調整ボリューム）②を含むすべてのシステムのボリュームを最小及びMINの状態にします。

2. ヘッドユニットのスイッチをONにします。この時バランスとフェーダーコントロールは中央の位置にあわせておきます。

3. 本機のパワーインジケーター③が赤色に点灯しているか、確認します。

4. ヘッドユニットのボリュームをゆっくりと上げていき、左右のスピーカーから音が正常に再生されているかを確認します。

5. 正常に再生されていることが確認できたら、次にヘッドユニットのボリュームを60%程度まで上げ、本機のLEVEL（入力レベル調整ボリューム）②を徐々に上げていき、スピーカーから再生される音が歪まず、かつ十分な音量が得られる位置に設定します。

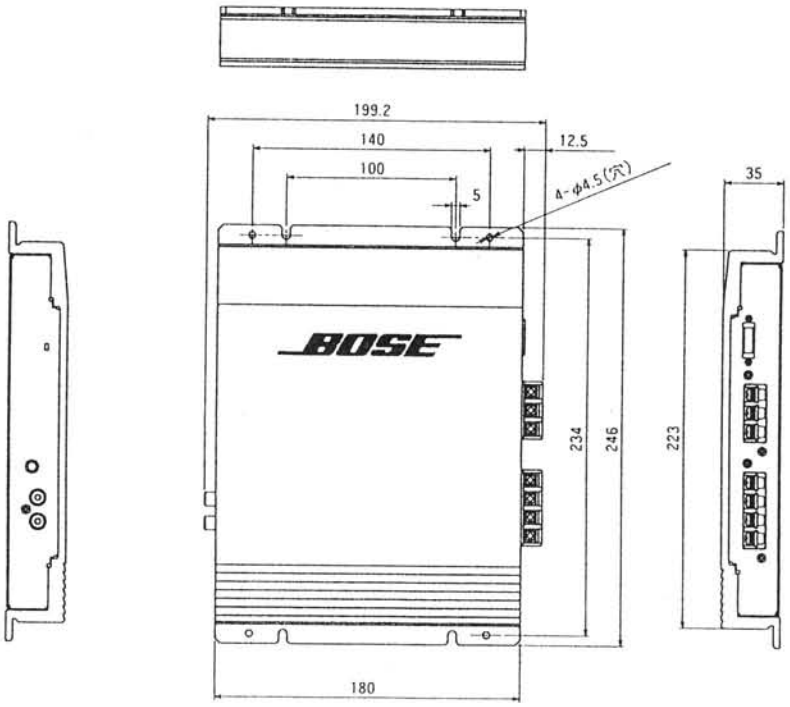
※LEVEL（入力レベル調整ボリューム）を少し上げただけで再生音が歪んでしまう場合は、ヘッドユニットのボリュームを低めに設定してください。

6. 音量の調整が終了したら、ヘッドユニットの電源をOFFにするか、車のイグニションスイッチをOFFにしたときに本機のパワーインジケーター③が消灯し、電源がきれることを確認してください。

トラブルと対策

症　　状	原　　因	処　　置
イコライザーアンプの電源が入らない。	バッテリーケーブルが接続されていない。あるいは接続不完全。	正しく接続し直してください。
	バッテリーケーブルのヒューズが切れている。	定格容量のヒューズと交換してください（10A）。
	リモートケーブルが正しく接続されていない。	「イコライザーアンプの接続について」の項を参照してください。
イコライザーアンプの電源が入りっぱなし（切れない）になる。	リモートケーブルが正しく接続されていない。	「イコライザーアンプの接続について」の項を参照してください。
音が出ない。	イコライザーアンプの電源が入っていない。	電源系ケーブルの配線を再チェックしてください。
	ヘッドユニットの電源が入っていない。	ヘッドユニットの電源を入れます。
	ヘッドユニットからの信号コードがはずれている。	接続し直してください。
	スピーカーケーブルが接続されていない。	接続し直してください。
	ソースが不良。	ソースを交換してください。
左右の信号が逆に再生される。	信号コードあるいはスピーカーケーブルの接続が左右逆になっている。	正しく接続し直します。
低域が良く出ない。	スピーカーケーブルの⊕⊖がまちがって接続されている（逆相になっている）。	正しく接続し直します。
	トーンコントローラーの低域側を絞ってある。	トーンコントローラーの低域側を上げていきます。
	スピーカーの取付場所の強度が不足している。	必要な補強を施します。
あるレベル以上にボリュームを上げると音が途切れてしまう（保護回路が作動）。	電源の給電能力不足。	電源の容量を増やします。 ＊取付店に相談してください。
雑音が入る。	オルタネーターノイズが入っている。アース線がノイズを拾っている他。	オルタネーターにコンデンサーをつける。 一点アースにする。ノイズフィルターの設置。 信号ケーブルと電源ケーブルをできるだけ離す。

イコライザーアンプの寸法図



仕　様

■スピーカー（1205SP）

使用ユニット …… 6インチ×9インチウーファー＋20mmツィーター
インピーダンス …… 2Ω
周波数特性 …… 40Hz～20KHz
外形寸法 …… （W×H×D）274×92×190.3（埋込部55）mm

■アンプ（1205 EA）

適合負荷インピーダンス …… 2Ω以上
定格出力 …… 30W+30W（両チャンネル駆動、2Ω、1kHz、0.1%THD）
SN比 …… 90dB以上（IHF-A）
全高調波歪率 …… 0.05%以下（両チャンネル駆動、2Ω、1kHz、10W時）
入力感度 …… 250mV（1kHz、入力ボリューム最大）
電源 …… 直流12V、マイナスアース専用
最大消費電流 …… 8A
サイズ …… 199.2（W）×35（H）×246（D）mm
重量 …… 1.5kg

保　証

●1205のアンプまたはスピーカーを指定機種で使用せず、他の機器と組み合わせて使用したことによる故障は保証の対象外となります。
●改造を施された製品は保証の対象外となります。
●イコライザーアンプの保証期間は1年、スピーカーの保証期間は5年です。

BOSE®
Better sound through research.
ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル　TEL 03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱い以外の製品につきましては、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1043
95・6・0.5K・A・1(I・M)